

釧路地方における *Anemone* 属の一種について(予報)

新庄 久志[※] 高嶋八千代^{※※}

On a species of *Anemone* L. in Kushiro area

Hisashi SHINSHO* Yachiyo TAKASHIMA**

Synopsis

Hisashi SHINSHO (Kushiro City Museum, Kushiro), Yachiyo TAKASHIMA (the Friends of Kushiro City Museum, Kushiro), 1989. On a species of *Anemone* L. in Kushiro area. Memoirs of the Kushiro City Muse., 14: 23-30.

There is a species of *Anemone* L. which has not been identified in Kushiro area. Their flowering stems is 8 to 16cm high with 5 to 8 white sepals petal-like. The characters which is the key to identify are length and width of sepals and length of anther. Their sepals are 1.7 to 3.4 times as long as they are wide and their length of anther are 0.8 to 1.2mm. It is considered that the species of *Anemone* L. is intermediate hybrid of *A. pseudo-altaica* and *A. nikoensis*.

1. はじめに

昭和60年度～昭和62年度にかけて、釧路市による「春採湖、および周辺の環境保全基礎調査」が実施された。調査は、釧路市が「春採湖調査会」（代表・岡崎由夫、事務局・釧路市立博物館）に委託したもので、植物部門では水生植物の分布、および湖畔の植物群落について調査が行われ、あわせて74科427種の植物標本が作成された。

その際、*Anemone* 属のなかに、*A. pseudo-altaica* Hara キクザイイチゲであるか、*A. nikoensis* Maxim. イチリンソウであるか、同定のできない一種があった。その後も同様の一種が標茶町、喜別町でみとめられた。

釧路地方における *A. pseudo-altaica* については、古くは田中が釧路叢書第5巻「釧路の植物」(1963)のなかで、釧路地方の内陸丘陵地の草原構成種のひとつとして記載している。標本については、滝田が音別町霧里(1977)、

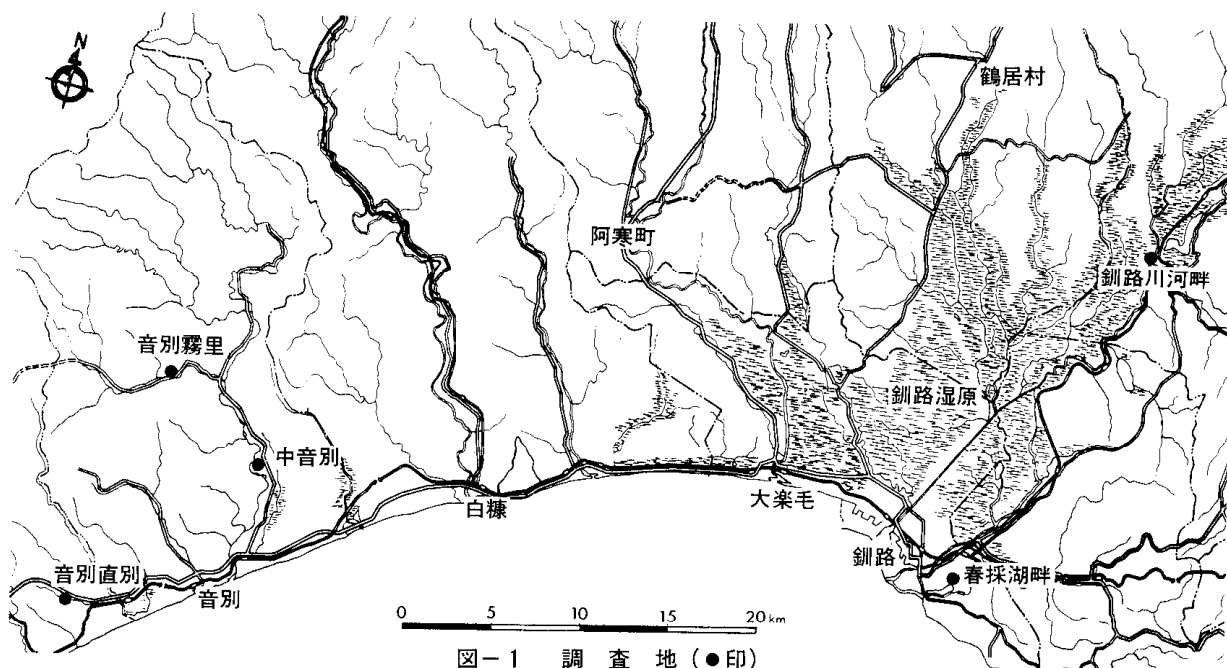


圖-1 調查地(●印)

※釧路市立博物館 (Kushiro City Museum, Kushiro, Hokkaido)

※※釧路市立博物館友の会 (The Friends of Kushiro City Museum)

音別町二股（1981）で採集したものが釧路市立博物館に収蔵されている。

また、松本が標茶町塘路で同様の *Anemone* 属の一種を採集し（1982）、当初、ガク片の数から *A. nikoensis* イチリンソウと同定したが、北海道がイチリンソウの分布域に含まれていないことから、現在、種の同定を保留している。

今回、春採湖畔で採集した *Anemone* 属の一種は、ガク片の数が5～6個、ガク片の幅に対する長さの比が1.7～3.0倍、葯の長さが0.9～1.0mmというものであった。これは、大井（1978）、北村・村田（1984）の検索表によると、*A. nikoensis* に属すると考えられる。しかし、*A. nikoensis* の分布域は、大井、北村・村田によると本州、四国、九州とされ、北海道は含まれていない。本州中部以北から北海道にかけては *A. pseudo-altaica* が分布するとされているので、*A. nikoensis* と同定するには疑問が残った。

したがって、さらに詳しい資料を得るために、1988年4月23日、24日、29日、5月2日に予備調査を行なった。

本調査を実施するにあたり、標本の作成を釧路市立博物館友の会々員松本秋義氏にお願いし、現地の調査では同会々員新庄佳子さんのご協力をいただいた。記して深謝申し上げたい。

2. 調査方法

調査は、調査地に自生する対象種を任意に10個体ずつ採集し、*A. pseudo-altaica* と *A. nikoensis* の検索の形質になっているガク片の数、ガク片の幅に対する長さの比、葯の長さを測定した。検索表は下記によった。

大井次三郎「改訂増補新版 日本植物誌 顕花編」（1978）

1. *A. pseudo-altaica*,

ガク片は8～12個、線状長楕円形、長さは幅の5～8倍、葯は楕円形、長さ0.6～0.8mm

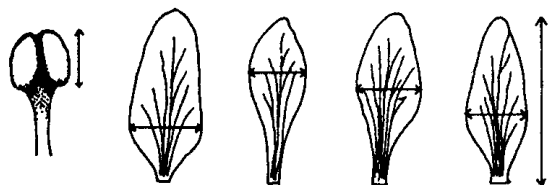


図-2 ガク片と葯の測定箇所

2. *A. nikoensis*

ガク片は5（～6）個、楕円形、長さは幅の1.5～3倍、葯は長楕円形、長さ1.0～1.5mm

北村四郎・村田源「原色日本植物図鑑・草本編II」（1984）

1. *A. pseudo-altaica*

ガク片は8～12個で長さ幅の5～8倍、葯は楕円形で長さ0.6～0.8mm

2. *A. nikoensis*

ガク片は5～6個で長さ幅の1.5～3倍、葯は長楕円形で長さ1.0～1.5mm

3. 調査地（図-1）

春採湖畔：ヒブナの生息地として国の天然記念物に指定されている春採湖の湖畔の台地で、天然樹、および植栽樹によって比較的樹影が濃い。樹高8m内外のイタヤカエデ、エゾヤマザクラ、カラマツを中心とする林で、*Anemone* 属の一種は、植栽されたと思われる樹高約2mのマユミの根もとにマット状に群生している。

釧路川河畔：釧路湿原の東端、コックロ地区を流下する釧路川の河畔である。ナガバヤナギが優占する樹高3～4mの河畔林の林床に散生している。*A. raddeana* Regel アズマイチゲもみとめられた。

音別霧里：町道音別一二股線と音別川の川原にはさまれた台地で、樹高3～4mのナガバヤナギの優占する河畔林の林床に、比較的密に分布する。

中音別：町道音別一二股線と採草地にはさまれた、かつての林を構成していたヤチダモとハルニレが数本残る立地である。広い範囲に分布し、一部は道路ののり面の芝生にもみとめられる。

音別直別：音別町と浦幌町の境界付近で、国道38号線沿いのミズナラシラカンバ二次林の林縁である。小さなパッチ状に群生し、車道ののり面にも散生してみとめられる。

調査時の天候、気温、地温（深さ約5cm）、開花の状態は下記のとおりである。

調査地	天候	気温	地温	開花の状態
春採湖畔	晴れ	8.0℃	2.7℃	ほぼ満開
釧路川河畔	曇り	7.1℃	2.5℃	ほぼ満開
音別霧里	晴れ	19.8℃	3.4℃	9分咲き
中音別	晴れ	15.5℃	6.9℃	9分咲き
音別直別	晴れ	11.7℃	2.6℃	ほぼ満開

4. 調査結果、および考察

1) ガク片の数(表-1、図-3)

春採湖畔は5~6個、釧路川河畔は8個であった。したがって、春採湖畔は *A. nikoensis* に、釧路川河畔は *A. pseudo-altaica* に属するものと考えられる。音別霧里、中音別、音別直別は7~8個で、ガク片が8個の個体は *A. pseudo-altaica* に属するが、ガク片が7個の個体は *A. pseu-*

表-1 ガク片の数

	ガク片の数(個)										調査年月日
	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	
春採湖畔	6	6	6	6	5	6	6	5	6	6	5~6 昭和63年4月23日
釧路川河畔	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8 4月24日
音別霧里	7	7	8	7	7	8	7	8	7	7	7~8 4月29日
中音別	7	8	7	8	8	7	8	8	8	8	7~8 4月29日
音別直別	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	7~8 5月2日

表-2 ガク片の長さ(春採湖畔)

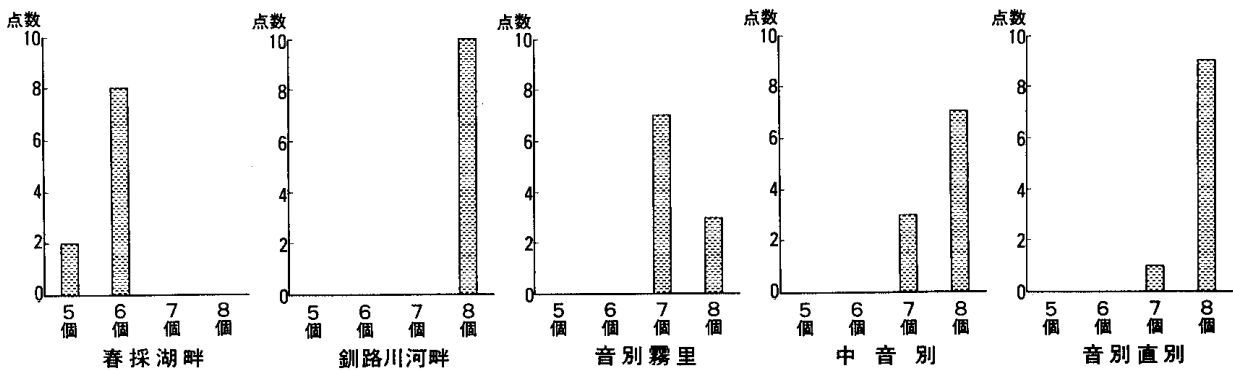
		ガク片の長さ(個)					
		1	2	3	4	5	6
i	長さ(mm)	14.5	15.5	15.5	14.5	13.5	12.5
	幅(mm)	7.5	7.0	7.5	7.0	6.5	4.5
	長さ/幅	1.9	2.2	2.0	2.0	2.0	2.7
ii	長さ(mm)	15.0	15.0	14.5	15.0	14.5	14.0
	幅(mm)	7.0	7.0	7.0	7.0	6.5	5.5
	長さ/幅	2.1	2.1	2.0	2.1	2.2	2.5
iii	長さ(mm)	14.0	13.5	13.5	14.0	14.0	14.0
	幅(mm)	7.5	6.0	6.5	7.0	8.0	6.5
	長さ/幅	1.8	2.2	2.0	2.0	1.7	2.1
iv	長さ(mm)	14.5	14.0	14.0	14.5	13.5	14.0
	幅(mm)	6.5	7.5	6.0	7.0	6.0	6.5
	長さ/幅	2.2	1.8	2.3	2.0	2.2	2.1
v	長さ(mm)	14.5	14.0	13.5	14.5	15.0	
	幅(mm)	7.0	7.0	6.0	6.5	7.0	
	長さ/幅	2.0	2.0	2.2	2.2	2.1	
vi	長さ(mm)	12.0	12.5	13.0	12.5	13.0	12.0
	幅(mm)	6.0	6.0	6.5	4.5	7.0	5.5
	長さ/幅	2.0	2.0	2.0	2.7	1.8	2.1
vii	長さ(mm)	15.0	14.0	14.5	14.0	14.0	14.0
	幅(mm)	7.0	7.0	6.5	7.0	6.0	6.0
	長さ/幅	2.1	2.0	2.2	2.0	2.3	2.3
viii	長さ(mm)	14.0	14.0	14.0	13.5	13.5	
	幅(mm)	7.5	8.0	6.5	6.5	7.0	
	長さ/幅	1.8	1.7	2.1	2.0	1.9	
ix	長さ(mm)	13.0	13.0	13.0	14.0	12.0	15.0
	幅(mm)	7.0	6.5	6.5	7.0	4.0	7.0
	長さ/幅	1.8	2.0	2.0	2.0	3.0	2.1
x	長さ(mm)	12.0	12.5	12.0	13.0	13.0	13.0
	幅(mm)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.5	5.5
	長さ/幅	2.4	2.5	2.4	2.6	2.3	2.3

表-3 ガク片の長さ(釧路川河畔)

		ガク片の長さ(個)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
i	長さ(mm)	16.0	14.0	17.0	15.0	15.5	15.0	15.0	15.5
	幅(mm)	7.0	5.5	7.0	6.5	6.5	7.0	7.5	6.0
	長さ/幅	2.2	2.5	2.4	2.3	2.3	2.1	2.0	2.5
ii	長さ(mm)	14.5	13.0	14.0	14.5	14.5	14.5	14.5	14.0
	幅(mm)	5.0	4.5	5.5	5.5	6.0	5.5	5.0	6.0
	長さ/幅	2.9	2.8	2.5	2.6	2.4	2.6	2.9	2.3
iii	長さ(mm)	13.0	13.5	13.0	11.1	12.0	12.0	13.0	13.0
	幅(mm)	5.5	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
	長さ/幅	2.3	2.8	2.3	2.2	2.4	2.4	2.1	2.1
iv	長さ(mm)	15.0	14.5	14.5	15.5	15.5	15.0	15.0	15.0
	幅(mm)	6.0	5.0	5.0	5.5	6.0	5.0	5.0	6.0
	長さ/幅	2.5	2.9	2.9	2.8	2.5	3.0	3.0	2.5
v	長さ(mm)	10.5	11.5	11.5	11.5	11.0	11.0	11.5	17.0
	幅(mm)	4.5	5.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	長さ/幅	2.3	2.0	2.3	2.3	2.2	2.2	2.3	3.4
vi	長さ(mm)	15.0	14.0	14.0	13.5	13.5	14.5	12.5	14.0
	幅(mm)	5.5	5.0	5.0	5.0	5.5	5.5	5.0	5.5
	長さ/幅	2.7	2.8	2.8	2.7	2.4	2.6	2.5	2.5
vii	長さ(mm)	14.0	12.5	14.5	14.5	13.0	13.5	14.0	13.5
	幅(mm)	6.0	5.0	6.0	6.0	5.5	5.5	5.5	6.0
	長さ/幅	2.3	2.5	2.4	2.4	2.3	2.4	2.5	2.2
viii	長さ(mm)	14.0	14.0	13.5	13.5	14.0	14.0	13.0	14.0
	幅(mm)	5.5	5.5	5.0	5.0	5.5	6.0	4.5	5.5
	長さ/幅	2.5	2.5	2.7	2.7	2.5	2.3	2.8	2.5
ix	長さ(mm)	14.0	13.0	13.0	13.0	13.5	13.0	11.5	12.0
	幅(mm)	5.5	5.5	5.5	5.0	6.0	5.0	4.0	5.0
	長さ/幅	2.5	2.3	2.3	2.6	2.2	2.6	2.8	2.4
x	長さ(mm)	14.5	15.5	15.0	15.5	14.0	14.5	14.0	14.5
	幅(mm)	6.0	6.5	6.5	6.5	6.0	6.0	6.0	5.5
	長さ/幅	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.3	2.6

表-4 ガク片の長さ(音別霧里)

		ガク片の長さ(個)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
i	長さ(mm)	14.0	13.0	12.5	15.0	14.5	14.0	12.0	
	幅(mm)	7.0	6.5	5.0	6.5	6.5	6.0	4.5	
	長さ/幅	2.0	2.0	2.5	2.3	2.2	2.3	2.6	
ii	長さ(mm)	15.0	14.0	14.5	15.0	15.0	15.0	14.5	
	幅(mm)	6.0	5.5	7.0	7.5	7.5	6.5	6.5	
	長さ/幅	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.3	2.2	
iii	長さ(mm)	18.0	18.5	18.5	17.5	18.5	18.0	17.0	17.5
	幅(mm)	8.0	7.5	7.0	7.5	8.0	7.0	7.5	7.5
	長さ/幅	2.2	2.4	2.6	2.3	2.3	2.5	2.2	2.3
iv	長さ(mm)	15.5	15.0	15.5	16.0	14.5	15.5	16.0	
	幅(mm)	7.5	7.5	9.0	7.0	6.5	8.0	7.5	
	長さ/幅	2.0	2.0	1.7	2.2	2.2	1.9	2.1	
v	長さ(mm)	16.0	15.5	16.0	15.5	15.5	15.5	15.0	
	幅(mm)	7.5	8.0	8.0	6.5	7.0	7.5	5.5	
	長さ/幅	2.1	1.9	2.0	2.3	2.2	2.0	2.7	
vi	長さ(mm)	19.0	18.0	19.0	17.0	18.0	19.0	18.5	17.5
	幅(mm)	8.0	8.0	8.0	7.0	7.5	7.0	9.0	7.0
	長さ/幅	2.3	2.2	2.3	2.4	2.4	2.7	2.0	2.5
vii	長さ(mm)	15.0	15.0	14.5	15.0	15.5	15.5	15.0	
	幅(mm)	8.0	7.0	7.0	6.5	7.0	9.0	8.0	
	長さ/幅	1.8	2.1	2.0	2.3	2.2	1.7	1.8	
viii	長さ(mm)	17.5	17.5	17.5	18.0	17.5	18.0	17.0	18.0
	幅(mm)	6.5	7.0	7.5	7.5	7.5	7.5	6.0	7.0
	長さ/幅	2.6	2.5	2.3	2.4	2.3	2.4	2.8	2.5
ix	長さ(mm)	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	14.5	15.0	
	幅(mm)	7.0	7.0	8.0	7.5	8.5	7.0	7.0	
	長さ/幅	2.1	2.1	1.8	2.0	1.7	2.0	2.1	
x	長さ(mm)	15.5	15.5	15.0	15.0	15.0	15.5	14.5	
	幅(mm)	8.0	7.5	7.0	7.5	6.0	7.0	7.0	
	長さ/幅	1.9	2.0	2.1	2.0	2.5	2.2	2.0	



3 ガク片の数

do-altaica と *A. nikoensis* の中間に位置し、種類を特定することができない。

2) ガク片の幅に対する長さの比

(表-2・3・4・5・6、図-4)

採集個体のガク片について、幅に対する長さの比を測定した。春採湖畔は1.7~3.0倍、釧路川河畔が2.0~2.9倍(1個体は3.4倍)、音別霧里1.7~2.8倍、中音別1.8~2.7倍、音別直別1.7~2.7倍であった。

釧路川河畔に3.4倍が1例あるが、それを除くと他はす

べて *A. nikoensis* の1.5~3.0倍の範囲に含まれることになる。

したがって、ガク片の数とガク片の幅に対する長さのこの二つの形質から春採湖畔の個体を *A. nikoensis* と同定することはできるが、それ以外の調査地の個体の種類を特定することはできない。

3) 葯の長さ (表-7・8・9・10・11、図-5)

採集した個体より任意に雄しべを10本取り出し、葯の長さを測定した。

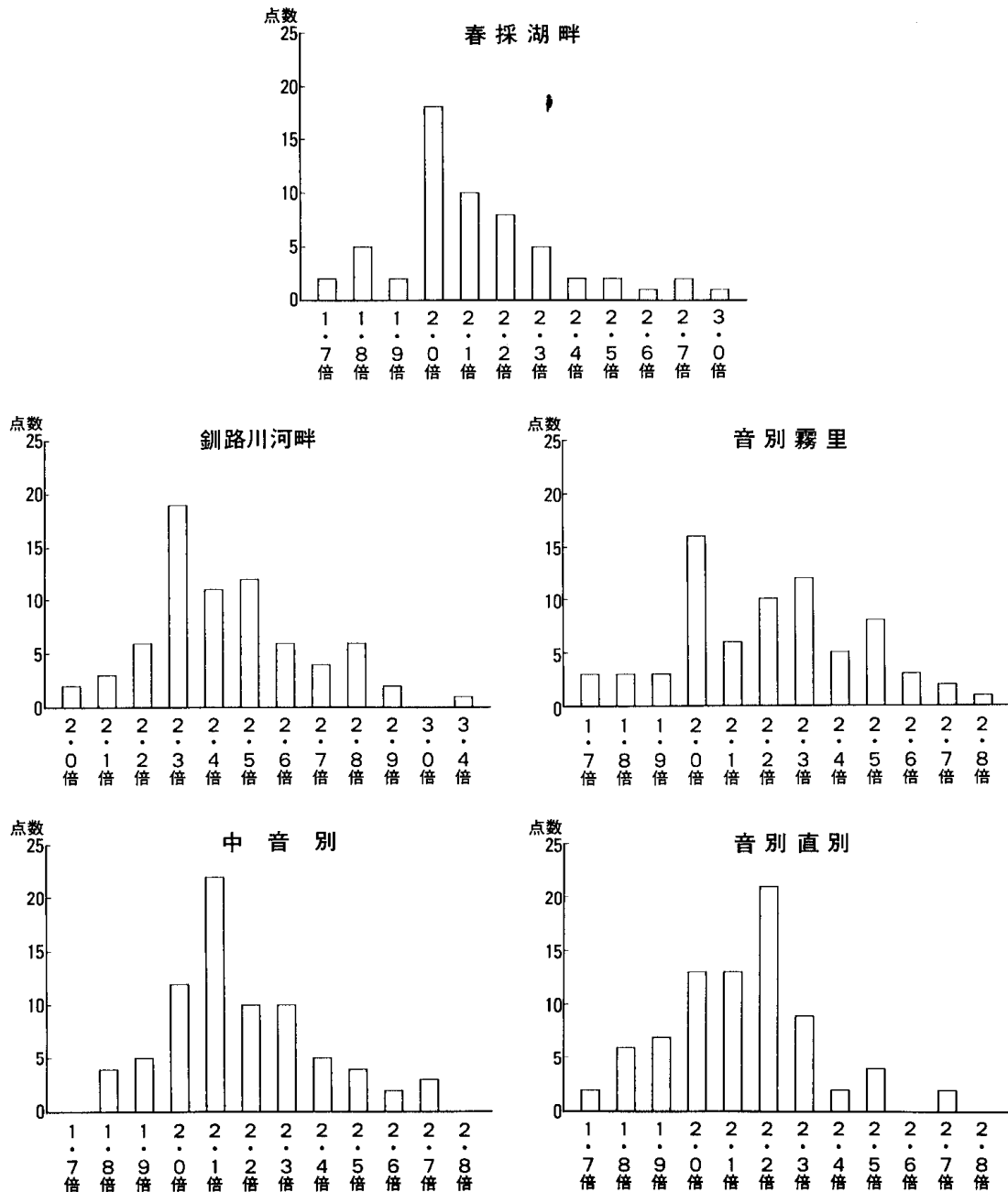


図-4 ガク片の長さ/幅

表-5 ガク片の長さ(中音別)

		ガク片の長さ(中音別)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
i	長さ(mm)	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
	幅(mm)	6.0	6.5	5.5	5.5	6.0	6.5	6.5	
	長さ/幅	2.5	2.3	2.7	2.7	2.5	2.3	2.3	
ii	長さ(mm)	17.0	17.0	16.0	16.5	16.5	16.5	15.5	16.0
	幅(mm)	7.0	6.5	7.0	6.0	7.0	6.5	6.5	6.0
	長さ/幅	2.4	2.6	2.2	2.7	2.3	2.5	2.3	2.6
iii	長さ(mm)	13.5	14.5	13.5	13.5	14.0	14.0	13.5	
	幅(mm)	7.0	7.0	6.0	6.0	6.5	6.5	5.5	
	長さ/幅	1.9	2.0	2.2	2.2	2.1	2.1	2.4	
iv	長さ(mm)	13.0	12.0	12.5	13.5	13.0	13.0	13.5	13.0
	幅(mm)	6.0	5.0	5.5	5.5	6.0	6.0	6.0	6.0
	長さ/幅	2.1	2.4	2.2	2.4	2.1	2.1	2.2	2.1
v	長さ(mm)	15.5	16.5	16.0	16.0	16.0	16.0	15.5	14.5
	幅(mm)	8.0	8.5	7.5	8.0	7.5	8.5	7.5	7.5
	長さ/幅	1.9	1.9	2.1	2.0	2.1	1.8	2.0	1.9
vi	長さ(mm)	17.5	18.0	18.0	18.5	17.5	17.5	18.0	
	幅(mm)	8.5	10.0	9.0	7.5	8.5	8.5	8.0	
	長さ/幅	2.0	1.8	2.0	2.4	2.0	2.0	2.2	
vii	長さ(mm)	16.0	16.0	16.5	16.0	15.5	16.5	15.0	16.0
	幅(mm)	7.5	7.5	7.5	7.5	6.5	8.0	7.0	7.0
	長さ/幅	2.1	2.1	2.2	2.1	2.3	2.0	2.1	2.2
viii	長さ(mm)	17.0	17.0	17.0	17.0	16.5	16.5	17.0	16.0
	幅(mm)	8.0	8.0	7.5	7.5	7.0	8.0	8.0	8.5
	長さ/幅	2.1	2.1	2.2	2.2	2.3	2.0	2.1	1.8
ix	長さ(mm)	16.0	16.5	16.0	16.0	15.5	16.0	16.5	16.5
	幅(mm)	7.5	9.0	7.5	7.5	7.5	8.0	8.0	8.5
	長さ/幅	2.1	1.8	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9
x	長さ(mm)	12.0	13.0	13.0	14.0	14.0	13.0	13.0	13.0
	幅(mm)	5.5	6.0	5.5	5.5	6.5	6.0	5.5	5.5
	長さ/幅	2.1	2.1	2.3	2.5	2.1	2.1	2.3	2.3

表-7 葯の長さ(春採湖畔)

	葯の長さ(mm)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
i	1.0	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	0.97
ii	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	0.9	0.97
iii	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.99
iv	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	0.9	0.98
v	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	0.97
vi	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.99
vii	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.99
viii	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	0.97
ix	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	0.98
x	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.99

表-9 葯の長さ(音別霧里)

	葯の長さ(mm)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
i	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00
ii	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.99
iii	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00
iv	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.98
v	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00
vi	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00
vii	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.98
viii	1.0	1.0	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.96
ix	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.97
x	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00

表-6 ガク片の長さ(音別直別)

		ガク片の長さ(音別直別)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
i	長さ(mm)	19.0	19.0	18.5	18.5	19.0	18.0	18.5	11.5
	幅(mm)	8.5	9.0	8.0	8.5	7.5	9.5	9.0	5.0
	長さ/幅	2.2	2.1	2.3	2.1	2.5	1.8	2.0	2.3
ii	長さ(mm)	17.0	13.5	16.0	16.0	15.0	16.6	16.5	16.0
	幅(mm)	8.0	6.0	7.5	7.5	7.0	8.0	6.0	8.0
	長さ/幅	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.0	2.7	2.0
iii	長さ(mm)	17.0	16.5	18.0	17.5	17.0	17.0	17.0	16.5
	幅(mm)	8.5	7.5	8.0	8.0	7.0	7.5	8.5	7.5
	長さ/幅	2.0	2.2	2.2	2.1	2.4	2.2	2.0	2.2
iv	長さ(mm)	15.5	15.5	15.5	15.0	15.5	14.5	15.5	15.5
	幅(mm)	6.5	7.5	7.5	7.0	7.0	7.5	7.0	7.0
	長さ/幅	2.3	2.0	2.0	2.1	2.2	1.9	2.2	2.2
v	長さ(mm)	15.5	16.0	16.0	16.0	16.5	16.5	16.5	
	幅(mm)	8.0	9.0	8.5	7.5	8.5	7.0	8.0	
	長さ/幅	1.9	1.7	1.8	1.8	1.9	2.3	2.0	
vi	長さ(mm)	16.0	15.0	15.0	16.5	16.5	16.5	16.5	17.0
	幅(mm)	7.5	7.5	7.0	7.5	7.0	7.5	8.0	7.5
	長さ/幅	2.1	2.0	2.1	2.2	2.3	2.2	2.0	2.2
vii	長さ(mm)	14.5	15.5	15.0	15.0	15.0	15.5	15.5	16.5
	幅(mm)	8.5	8.0	8.0	8.0	7.0	8.0	6.5	7.0
	長さ/幅	1.7	1.9	1.8	1.8	2.1	1.9	2.3	2.3
viii	長さ(mm)	15.0	15.0	16.0	15.5	14.5	15.0	14.5	15.5
	幅(mm)	6.5	5.5	6.5	7.0	6.5	6.0	6.5	7.0
	長さ/幅	2.3	2.7	2.4	2.2	2.2	2.5	2.2	2.2
ix	長さ(mm)	15.5	14.5	16.5	16.0	16.5	16.5	15.0	16.0
	幅(mm)	7.5	7.5	7.0	8.5	7.5	7.5	6.0	7.5
	長さ/幅	2.0	1.9	2.3	1.8	2.2	2.2	2.5	2.1
x	長さ(mm)	16.0	16.0	16.0	15.5	15.5	15.5	14.5	15.0
	幅(mm)	7.0	8.0	7.0	6.0	8.0	7.0	7.0	7.0
	長さ/幅	2.2	2.0	2.2	2.5	1.9	2.2	2.0	2.1

表-8 葯の長さ(釧路川河畔)

	葯の長さ(mm)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
i	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.94
ii	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.97
iii	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	0.89
iv	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.90
v	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00
vi	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.87
vii	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	1.0	1.0	0.90
viii	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.87
ix	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.89
x	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.88

表-10 葯の長さ(中音別)

	葯の長さ(mm)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
i	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.97
ii	1.0	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	0.8	1.0	0.91
iii	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.82
iv	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.85
v	1.0	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	0.89
vi	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00
vii	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.98
viii	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.94
ix	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00
x	0.9	1.0	1.0	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.97

春採湖畔は0.9~1.0 mm、釧路川河畔が0.8~1.0 mm 音別霧里0.8~1.0 mm、中音別0.8~1.0 mm、音別直別 1.0~1.2 mm であった。

A. nikoensis の葯の長さは1.0~1.5 mmであるから、春採湖畔は*A. nikoensis*に属するものと、*A. nikoensis*と*A. pseudo-altaica*の中間に属するものに別れる。

釧路川河畔と音別霧里、中音別は*A. nikoensis*に属す

るもの、*A. pseudo-altaica*に属するもの、そして両者の中間に位置するものと三者三様である。音別直別は、*A. nikoensis*に属することになる。

以上において、ガク片の数を*A. nikoensis*が5~6個*A. pseudo-altaica*を7~8個とし、葯の長さについて、*A. nikoensis*が0.9~1.5 mm、*A. pseudo-altaica*を0.6~0.8 mmとして整理すると、表-12のようにまとめることができる。

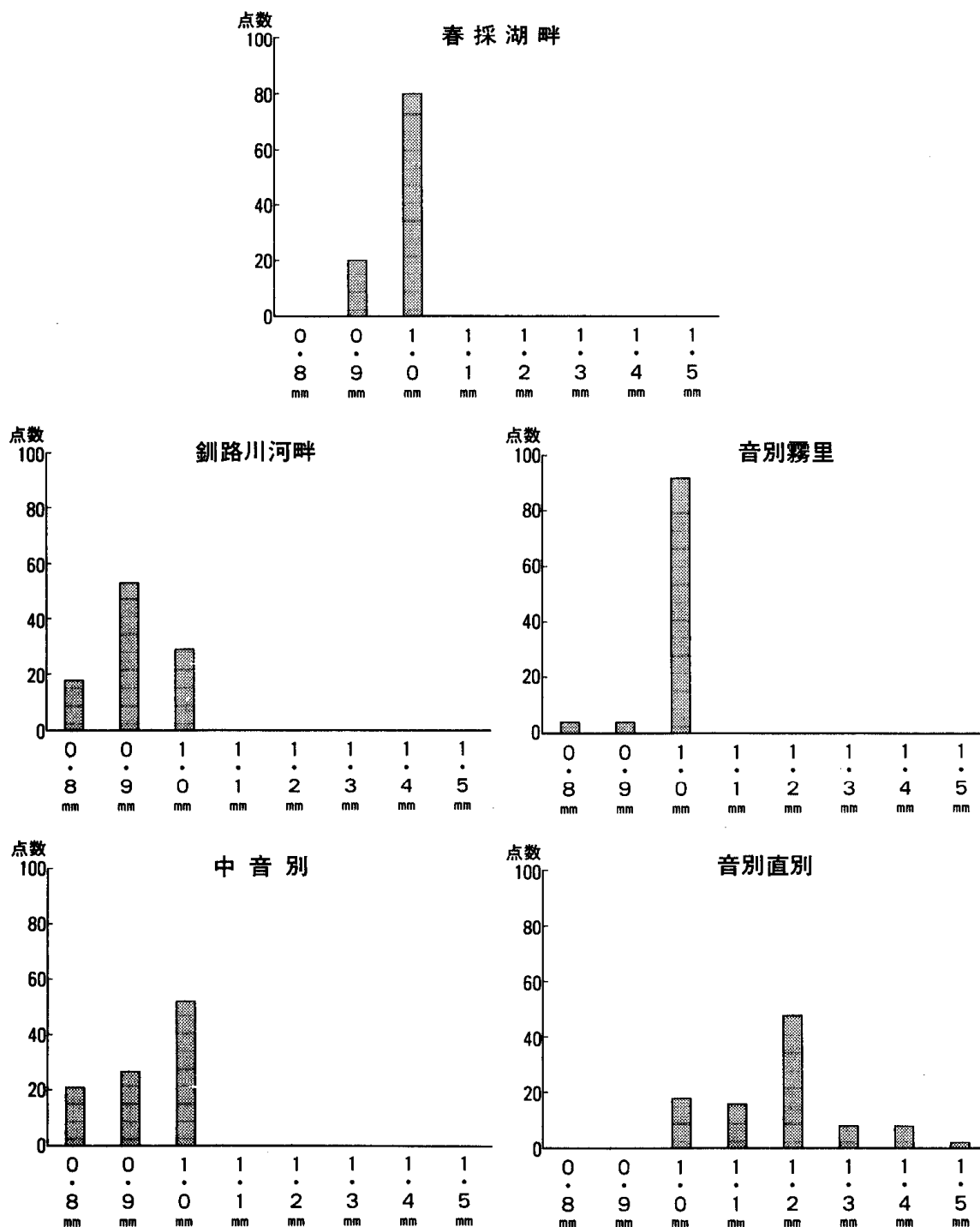


図-5 葯の長さ

春採湖畔の *Anemone* 属は、*A. nikoensis* と特定することができる。しかし、そうなると本種の分布域が北海道まで広がることになる。つまり、*A. nikoensis* の分布域について、再検討の必要がでてくる。

また、釧路川河畔、音別霧里、中音別、音別直別ではガク片の数は *A. pseudo-altaica* に対応するが、ガク片の幅に対する長さの比は *A. nikoensis* に属することになる。

さらに葎の長さでは、音別直別が *A. nikoensis* に対応するほかは、釧路川河畔、音別霧里、中音別とも *A. nikoensis* と *A. pseudo-altaica* 両者の形質を持つことになる。

したがって、春採湖畔も含めて釧路地方の *Anemone* 属について、現在の時点では種類を特定することができない。これは検索に用いる形質の数値について、再検討

表-11 葎の長さ (音別直別)

	葎の長さ (mm)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
i	1.5	1.5	1.4	1.0	1.4	1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	1.32
ii	1.3	1.2	1.2	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.4	1.2	1.22
iii	1.2	1.4	1.2	1.4	1.2	1.3	1.2	1.0	1.3	1.2	1.24
iv	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.18
v	1.3	1.2	1.3	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2	1.0	1.2	1.23
vi	1.2	1.2	1.2	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1	1.09
vii	1.2	1.0	1.2	1.1	1.0	1.0	1.1	1.2	1.1	1.1	1.10
viii	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	1.1	1.05
ix	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.05
x	1.1	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.17

表-12 測定形質の検索の結果

調 査 地	ガク片の数	ガク片の幅に対する長さの比	葎の長さ
春 採 湖 畔	<i>A. nikoensis</i>	<i>A. nikoensis</i>	<i>A. nikoensis</i>
釧 路 川 河 畔	<i>A. pseudo-altaica</i>	<i>A. nikoensis</i>	<i>A. nikoensis</i> <i>A. pseudo-altaica</i>
音 別 霧 里	<i>A. pseudo-altaica</i>	<i>A. nikoensis</i>	<i>A. nikoensis</i> <i>A. pseudo-altaica</i>
中 音 別	<i>A. pseudo-altaica</i>	<i>A. nikoensis</i>	<i>A. nikoensis</i> <i>A. pseudo-altaica</i>
音 別 直 別	<i>A. pseudo-altaica</i>	<i>A. nikoensis</i>	<i>A. nikoensis</i>

が必要と考えると同時に、今回調査の対象となった *A. nemone* 属の一種が、*A. nikoensis* と *A. pseudo-altaica*、両者の形質を持つ中間雑種的存在と考えられるかも知れない。春採湖畔の *Anemone* 属はほぼ *A. nikoensis* と考えられるが他の調査地にみとめた *Anemone* 属は、*A. nikoensis* と *A. pseudo-altaica* 両者の形質を持つ中間雑種的存在と考えるのである。

今後、引き続き資料を得て、検討していきたいと考えている。

5. 摘 要

- 1) 1988年4月23・24・29日、5月2日、釧路市春採湖畔、標茶町コッタロ、音別町霧里・中音別、音別町直別において、*Anemone* 属の一種について、本種の同定に必要な形質、ガク片の数、ガク片の幅に対する長さの比、葎の長さについて予備調査を行なった。
- 2) 春採湖畔の *Anemone* 属は、*A. nikoensis* Maxim. イチリンソウに同定されたが、これまで本種の分布域に北海道は含まれていないので、分布域の再検討が必要と考えられた。
- 3) 標茶町コッタロ釧路川河畔、音別町霧里・中音別、音別町直別における *Anemone* 属は、*A. nikoensis* と *A. pseudo-altaica* のどちらかの形質、あるいは両者の形質、または両者の中間の形質がみとめられ、*A. nikoensis* と *A. pseudo-altaica* の中間雑種の種類の存在が示唆された。

6. 引用文献

田中瑞穂 (1963) 内陸丘陵地 (2) 林床ならびに草原の
構成 釧路の植物 釧路叢書第5巻

pp. 157~172

大井次三郎 (1978) 改訂増補新版日本植物誌 顕花篇

p.p. 601~603

滝田謙讓 (1980) 釧路植物誌 形態編 I

p.p. 206

田村道夫 (1983) 日本の野生植物 草本II 離弁花類

p.p. 67~69

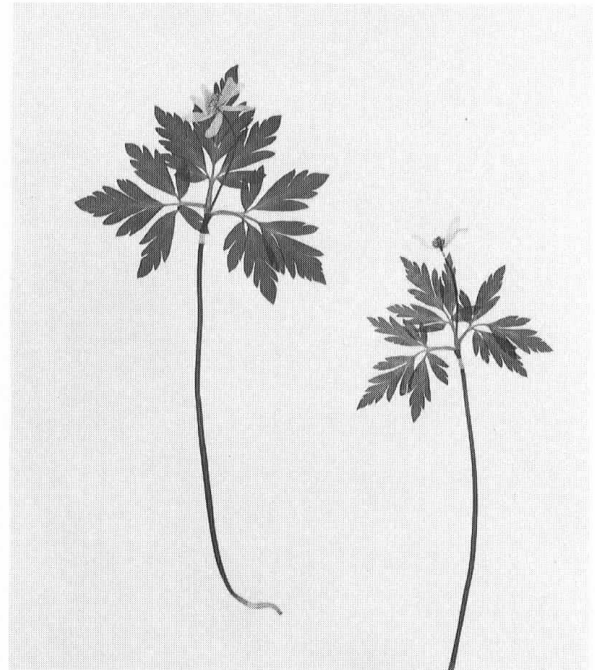
滝田謙讓 (1987) 東北北海道の植物 p.p. 100

北村四郎・村田源 (1984) 原色日本植物図鑑・草本編II

p.p. 230~233



春採湖畔の *Anemone* 属



標茶町の *Anemone* 属



釧路川河畔の *Anemone* 属



音別町霧里の *Anemone* 属